

人口と世帯

53.10.1現在

(前月比)

男 5,781人 (+5)

女 6,124人 (+10)

計11,905人 (+15)

世帯数2,756(-2)

# みくに報

発行/国見町役場

編集/企画課

福島県伊達郡国見町

大字藤田字一丁目二

2ノ1 ☎969-17

電話藤田(024585)2111(内)

昭和53年10月15日

No. 64



国見町カブスカウト副隊長

斎藤 玲子さん (18歳) 山崎字太子堂九の三 豊七さんの長女

カブスカウトとはボーイスカウトの下の年少隊のことであって、小学三年〜五年生を対象に募集し、ゲームや自然を通して、広い知識と強い精神力を身につけるために訓練されています。

斎藤さんは今年の六月に入隊。欠員となった副隊長にと、団員長の曳地一さんに白羽の矢をたてられたもので、リーダーとしてがんばっています。

現在、福島女子短期大学一年生。将来は幼稚園の先生に……という健康で明るいお嬢さんです。

## おもな内容

- 昭52年度の決算報告…… 2～5
- あの人この人 (内池和子さん) …… 4～5
- 公民館だより…… 5～6
- 牧野さんが作文で県一位…… 8
- スポット…… 9
- あつかし山を鳥獣保護区に……10
- 交通安全町民大会……11
- おしらせ……12

'78  
10月

# 昭和五十二年 決算

昭和五十二年の一般会計及び特別会計の決算が九月定例議会において認定されました。  
 どのようなお金が入って、どのように使われたのか、その中味についてお知らせいたします。

## 30%台の伸び率

昭和五十二年度も財政をとりまく環境は依然厳しい状況でありましたが、町税の完全徴収、経常経費節減によって健全財政維持に努める一方、教育施設の整備と町民生活関係事業などに重点を置いて

事業を遂行して来ましたが、

歳入十五億一千七百二十七万円  
 歳出十四億九千八百八十九万円、差引三千五百四十六万円、歳出歳入の対前年度伸び率が三〇%を越したは昭和四十七年度以来のことです。

# 9千2百万円

## 事業に重点

### 歳入



図(1)

## 歳入

●自主財源二一・六%  
 歳入は対前年度比較で三億九千九百五十五万円の増加で三五・四%の伸びです。財源別内訳は図(1)のとおりで、地方交付税が四〇・八%で第一位、次いで町債一九・七%、町税一五・八%、国庫支出金一一・五%の順位です。  
 地方交付税や国庫支出金などの国庫に依存する財源は依然として高く、全体の七八・二%を占めています。一方自主財源は、町税を筆頭にしながら二・八%に留まっています。  
 前年度と比較して大幅に伸びて

## 歳出

いるものは国庫支出金(約二・六倍、一億九千万円増)町債(約二・二倍、一億六千万円増)です。これは、大木戸小改良、公営住宅建設、町道整備の事業遂行によるものです。  
 ●一般財源は六一・三%  
 町税や地方譲与税、自動車取得税交付金、地方交付税など、依存財産と自主財源の区分にかかわらず地方公共団体の自由に使えるものが一般財源でできるだけ多く確保することが望ましいといえます。  
 昭和五十二年の一般財源使用可能額は九億三千七百万円で歳入全体の六一・三%です。前年度より一四・五%下回っていますが、これは国庫支出金など、使途が定められている特定財源が大幅に伸びたためです。  
 ●財政力指数は〇・二六七%  
 地方公共団体が等しく妥当な水準で自主的にその事務を遂行し財産を管理するのに必要な経費(基準財政需要額)に対し標準的な状態において徴収が見込まれる税収額(基準財政収入額)がどの程度かを表したもので指数が一以上か一に近しいほど財政能力が高いといえます。昭和五十二年度は〇・二六七で過去十年間大きな変化はありません。ちなみに、収入が経費に不足する額を補てんするものが地方交付税です。  
 ●教育費・土木費伸びる  
 歳出決算の状況は図(2)のとおりです。教育費(二五・二%)、土木費(二一・一%)、総務費(一一・五%)、農林水産業費(一一・一%)、民生費(一〇・七%)の順で高くこれら五費目で総額の八〇・六%を占めています。  
 前年度では、教育費(約二倍、一億八千万円増)、土木費(約一・六倍、一億一千四百万円増)の伸びが目立ちます。これは大木戸小改良、町道改良、公営住宅建設などによるもので歳入の国庫支出金や地方債の伸びに関連します。  
 次に経費を性質別に分類したのが図(3)です。普通建設事業(三九・三%)、人件費(二七・二%)、補助費(一一・一%)が高い割合を占めています。これを義務的経費、投資的経費及びその他の経費に区分すると投資的経費が全体の四一・六%を占め前年度の構成比より一四・六%上回っています。逆に二つの経費は前年度のそれより落ちていきます。また、投資的経費は伸び率でも前年度のほぼ二倍に伸びています。これは大木戸小改良を初めとする投資的事業の遂行のためです。  
 各部門の成果は次のとおりです。

●自主財源二一・六%  
 歳入は対前年度比較で三億九千九百五十五万円の増加で三五・四%の伸びです。財源別内訳は図(1)のとおりで、地方交付税が四〇・八%で第一位、次いで町債一九・七%、町税一五・八%、国庫支出金一一・五%の順位です。  
 地方交付税や国庫支出金などの国庫に依存する財源は依然として高く、全体の七八・二%を占めています。一方自主財源は、町税を筆頭にしながら二・八%に留まっています。  
 前年度と比較して大幅に伸びて

**衛生部門**

- ・公立藤田病院組合負担金 3,119万円
- ・伊達地方衛生処理組合負担金 2,957万円
- ・家庭排水施設整備材料代（川内地区）500万円
- ・成人病検診委託事業 168万円
- ・結核検診事業 115万円

**農林部門**

- ・鳥取林道開設事業 3,513万円
- ・県営大枝地区落水防除事業負担金 1,202万円
- ・広域農道用地協力者報償 987万円
- ・伊達西部農業基盤整備協議会負担金 901万円
- ・不動滝湧水対策事業工事 503万円
- ・高齢者肉用牛飼育モデル事業基金繰出金 500万円
- ・堂ノ前地区団体営灌漑排水事業設計委託料 493万円
- ・山崎川前水路改修工事 415万円
- ・徳江長割水路改修工事 290万円
- ・太田沼溜池工事 225万円
- ・桑折町国見町有北山組合負担金 215万円
- ・農業振興団体育成補助金 169万円

**商工部門**

- ・中小企業振興対策預託金 800万円
- ・商工会振興費補助金 360万円
- ・街路灯維持費補助金 65万円

**消防部門**

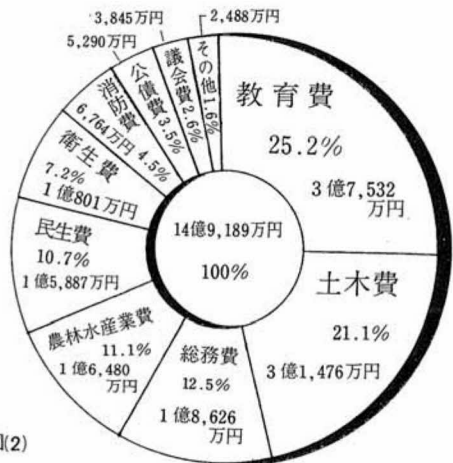
- ・伊達地方消防組合負担金 4,341万円
- ・消防ポンプ自動車 535万円
- ・防火用水槽設置費補助金（3カ所） 100万円

**一般会計**

**歳出総額14億**

**投資的**

**歳出**



図(2)

**性質別に見た歳出**



次ページに続きます

図(3)

**総務部門**

- ・新幹線トンネル掘削に伴う湧水対策事業 846万円
- ・交通安全施設（街灯、防護柵、コープミラー） 301万円
- ・町税計算センター委託事業 169万円
- ・公用車購入 125万円
- ・部落集会所建設補修費補助（5件） 91万円

**民生部門**

- ・老人医療費10割給付 5,040万円
- ・児童手当交付金 1,946万円
- ・季節保育所開設 847万円
- ・老人ホーム組合負担金 675万円
- ・重度心身障害者医療給付 169万円
- ・老人家庭奉仕員 123万円
- ・敬老祝金交付（80歳以上 207人） 104万円

**労働部門**

- ・労働者金融対策預託 200万円

土木部門

- ・大坂団地住宅建設 (土地代含む) 7,270万円
- ・内容西堂線町道改良及び舗装工事 4,881万円
- ・川内元寺西線町道改良工事 1,189万円
- ・上鶴町別当線町道改良工事 1,006万円
- ・川北平林線町道工事 985万円
- ・鶴町線町道改良工事 982万円
- ・内容小坂線町道改良工事 982万円
- ・竜蔵院川河川改良工事 856万円
- ・小川辻東線町道改良工事 545万円
- ・町道補修資材 (砂利、碎石、ヒューム管) 476万円
- ・日渡線町道改良工事 410万円
- ・小坂北町裏線町道改良工事 374万円
- ・大坂線町道改良工事 304万円
- ・高田三斗葺線町道改良工事 317万円

教育部門

- ・大木戸小学校改築関係費 1億 9,134万円
- 工事費 1億 7,498万円
- 設計管理委託料 490万円
- 用地代 216万円
- プレハブ校舍借代 725万円
- 備品費 93万円
- その他事務費 112万円
- ・藤田小床張工事 492万円
- ・各小学校管理備品購入費 354万円
- ・各小学校教材備品購入費 336万円
- ・大枝小学校組合負担金 341万円
- ・小中学校管理警備委託料 276万円
- ・町民運動場工事 254万円
- ・公民館図書購入費 113万円
- ・三町学校給食センター協議会負担金 1,489万円



14

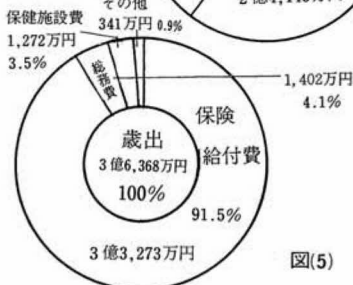
十月二十七日から読書週間が始まる。秋の夜長に本をひもとく楽しみは何ものにも換えがたいもの。一冊の本とのめぐり逢いが、自分の一生を変えてしまうこともある。また、子供にとって本が好きになることは、どれだけ生涯が豊かになるかわからない。

内池和子さん(山崎字沢田十の九)は、児童図書の研究を続けるのと同時に、「母と子の読書活動」などを通して、地域の児童の読書普及に情熱を燃やしている。「本は字を覚えたり知識を広めるために読むものではありません。子供にとって大切なのは考え方を広める基礎づくりであって時間的・空間的視野を大きくすること。」

『母と子の読書活動』では、図書館のように本をそろえて待つては、ここではなく、こちらから本を持って地域に向いて貸し出すもの。内池さんを指導員として、公民館の職員がライトバンに二百冊の本を積んで各地区(小坂、森野、大枝、石母田へ)巡回、巡回する。が、それは単なる貸出しではなく、指導を兼ねてお話をしたり遊んだり……大図書館のシステムではできない人間的なふれあいがある。「各小学校と地域のお母さん方の協力のおかげです。」

最初はやはりいい本を選んであげなくてはなりません。三〜四回繰り返せばおのずと自分では選べるようになるから。また「無理に読ませて感想文を強制しては本がきらいになる。大切なのは楽しく読んで意欲をかきたてること。そして、

読書活動に情熱を燃やす 内池和子さん



昭和五十一年度国民健康保険特別会計決算は、歳入三億九千八百六十八万円、歳出三億六千三百六十八万円、差引三千五百万円は昭和五十三年度へ繰越され減税などに充てられました。

歳入の内訳は、国庫支出金(二億四千四百三十三万六千六百六十六円)、次いでみなさんに納めていただく国民健康保険税が一億一千五百八十八万円(二八・九%)繰越金二千六百八十五万円(六・七%)などとなっています。

次に歳出の内容を見ますと、保険給付費が三億三千二百七十三万

国保特別会計決算

円と全体の九一・五%を占めています。総務費が千四百二十万円(四・一%)、保健婦設置などの保健施設費が千二百七十二万円(三・五%)と主な項目になっています。(図5)

昭和五十一年度の受診率は、年間平均被保険者六六〇一人に付し受診件数四一、九四一件です。六三・五%でした。

国民健康保険に関する詳しいことは「広報く に み」8月号をご参照下さい。



今読んで効果を期待してはだめ。二十年後、三十年後を信じてることですね。

ここでは貸出す冊数は制限していいない。すきなだけ貸すて自由に読ませる。なるべく数多くの本にふれて好きな本を見出すためというこの方式は、全国に先がけて行っている。

また、内池さんは「母と子」とは別に、県立図書館の指定を受けて、自宅を開放して親子読書の文庫をつくった。藤田地区を対象に、昭和四十七年から毎週土曜日貸出しを行っている。そして年末には子供劇場を催し、お母さんたちとのつながりを深めている。

内池さんは、現福島女子高の前身である福島第二高女を卒業と同時

時に、同校の図書館に勤務。夜はNHKの放送劇団で八年間活躍。「忙しくて、昔はほっそりしていたんですよ、誰も信じてくれないけど……ホホホ。でもとても楽しかった」と、当時がなつかしそう。生来の本好きで、宮沢賢治に心酔。そして、子供の頃に読んだトルストイの童話が忘れられないという。戦争中は書物がなくて、活字に飢え、本が借りられるとすれば、千里の道も遠しとせぜ借り歩いたそうである。

今でこそ本屋にはおびただしい数の本が並んでいるが、子供の頃は比較的歴史が浅く、普及したものは昭和三十年の後半頃からだそう。数多い本の中からいい本を選ぶのはむずかしいが「民話や童話

の原点に帰ること。もとの話に忠実な絵や物語を伝えてあげたい。また、読書は積み重ねが大切。六年生だから六年生用の本と決めてしまわないでほしい」と熱っぽく語る。

それから、どうしても実現したいという夢を持っている。それは、藤田病院に文庫をつくること。「ぜひ町の方をお願いしたい。初めは小さくても近隣の町が協力すれば実現できると思う。その時できるだけの手伝いはするつもり」病人の心の潤いとして、ぜひ実現してほしいものである。

現在、県北地区家庭文庫連絡会長。また、全国的な組織である児童図書研究会に所属。さらに月一回、福島子ども本研究会での勉強会。「子どもの本のことになると夢中になって……」と言いながら、自らも勉強を惜しまない。

一方、毎月一回福大助教授の村上先生を指導し本好きな主婦たちが集まって本を楽しむグループ「木曜会」の中心であり、その他詩、油絵、コースなど趣味も多く、妻として一男二女の母として多忙な日々をおくっている。

読書活動に取り組む内池さんの真摯（しんし）な姿と、庭先に今を盛りと咲きこぼれた見事な萩が印象的だった。

昭和六年十一月六日生まれ。

## 水道事業会計決算

昭和五十二年度末給水件数一、九九九件、給水人口八、四二八人に対し年間総配水量七五七、四八六<sup>三</sup>m<sup>三</sup>、有収水量五二八、五三三<sup>四</sup>m<sup>三</sup>で有収率六九・八%でした。

前年度に比べ有収水量で五・三%、有収率は三・八%の伸びです。

また、負荷率も八〇・五%で一〇%伸びて給水収益は五千九百七十四万円となり施設利用上好成績を納め、純利益で千七百七十四万円と安定した経営がなされました。

建設改良事業

一方、水需要の増大に対処するため、容量二七〇m<sup>三</sup>の配水池を増設するとともに水資源の開発にも着手し、約一、〇〇〇m<sup>三</sup>取水可能な深井戸の試掘を完了しています。また、県営ほ場整備事業に伴う延長二八八mに上つての配水管の移設工事、水圧低下地区（板橋、山根）に増圧装置の設置工事並びに浄水場の塩素減菌装置設置工事

昭和三十二年度末給水件数一、九九九件、給水人口八、四二八人に対し年間総配水量七五七、四八六<sup>三</sup>m<sup>三</sup>、有収水量五二八、五三三<sup>四</sup>m<sup>三</sup>で有収率六九・八%でした。

前年度に比べ有収水量で五・三%、有収率は三・八%の伸びです。

また、負荷率も八〇・五%で一〇%伸びて給水収益は五千九百七十四万円となり施設利用上好成績を納め、純利益で千七百七十四万円と安定した経営がなされました。

建設改良事業

一方、水需要の増大に対処するため、容量二七〇m<sup>三</sup>の配水池を増設するとともに水資源の開発にも着手し、約一、〇〇〇m<sup>三</sup>取水可能な深井戸の試掘を完了しています。また、県営ほ場整備事業に伴う延長二八八mに上つての配水管の移設工事、水圧低下地区（板橋、山根）に増圧装置の設置工事並びに浄水場の塩素減菌装置設置工事

昭和三十二年度末給水件数一、九九九件、給水人口八、四二八人に対し年間総配水量七五七、四八六<sup>三</sup>m<sup>三</sup>、有収水量五二八、五三三<sup>四</sup>m<sup>三</sup>で有収率六九・八%でした。

前年度に比べ有収水量で五・三%、有収率は三・八%の伸びです。

また、負荷率も八〇・五%で一〇%伸びて給水収益は五千九百七十四万円となり施設利用上好成績を納め、純利益で千七百七十四万円と安定した経営がなされました。

建設改良事業

一方、水需要の増大に対処するため、容量二七〇m<sup>三</sup>の配水池を増設するとともに水資源の開発にも着手し、約一、〇〇〇m<sup>三</sup>取水可能な深井戸の試掘を完了しています。また、県営ほ場整備事業に伴う延長二八八mに上つての配水管の移設工事、水圧低下地区（板橋、山根）に増圧装置の設置工事並びに浄水場の塩素減菌装置設置工事

昭和三十二年度末給水件数一、九九九件、給水人口八、四二八人に対し年間総配水量七五七、四八六<sup>三</sup>m<sup>三</sup>、有収水量五二八、五三三<sup>四</sup>m<sup>三</sup>で有収率六九・八%でした。

前年度に比べ有収水量で五・三%、有収率は三・八%の伸びです。

また、負荷率も八〇・五%で一〇%伸びて給水収益は五千九百七十四万円となり施設利用上好成績を納め、純利益で千七百七十四万円と安定した経営がなされました。

建設改良事業

一方、水需要の増大に対処するため、容量二七〇m<sup>三</sup>の配水池を増設するとともに水資源の開発にも着手し、約一、〇〇〇m<sup>三</sup>取水可能な深井戸の試掘を完了しています。また、県営ほ場整備事業に伴う延長二八八mに上つての配水管の移設工事、水圧低下地区（板橋、山根）に増圧装置の設置工事並びに浄水場の塩素減菌装置設置工事

その他の特別会計決算	
貝田簡易水道	
歳入	521万円
歳出	431万円
歳差引	90万円
青英	
歳入	254万円
歳出	177万円
歳差引	77万円
入山財産区	
歳入	233万円
歳出	213万円
歳差引	20万円
藤田財産区	
歳入	172万円
歳出	114万円
歳差引	58万円
大木戸財産区	
歳入	51万円
歳出	8万円
歳差引	43万円

昭和三十二年度末給水件数一、九九九件、給水人口八、四二八人に対し年間総配水量七五七、四八六<sup>三</sup>m<sup>三</sup>、有収水量五二八、五三三<sup>四</sup>m<sup>三</sup>で有収率六九・八%でした。

前年度に比べ有収水量で五・三%、有収率は三・八%の伸びです。

また、負荷率も八〇・五%で一〇%伸びて給水収益は五千九百七十四万円となり施設利用上好成績を納め、純利益で千七百七十四万円と安定した経営がなされました。

建設改良事業

一方、水需要の増大に対処するため、容量二七〇m<sup>三</sup>の配水池を増設するとともに水資源の開発にも着手し、約一、〇〇〇m<sup>三</sup>取水可能な深井戸の試掘を完了しています。また、県営ほ場整備事業に伴う延長二八八mに上つての配水管の移設工事、水圧低下地区（板橋、山根）に増圧装置の設置工事並びに浄水場の塩素減菌装置設置工事

資本的支出 一千七百四十五万円  
 差引 二千三百四十二万円  
 この不足額は過年度分損益勘定留保資金百九十一万円、建設改良積立金千六百万円及び当年度分損益勘定留保資金二百十二万円で補てんしました。



国見町公民館  
電 話 2676  
2,185人  
4156  
2,356人

# 深まりゆく秋に

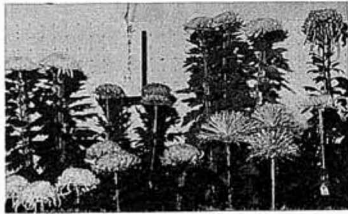
国見町文化祭

国見町の秋を彩る文化祭が、十月六日から十一月十二日の間に開催されています。

ことしは、諸流派いけばな展(十月六日~八日)、作品展示会(十一月三日~五日)、芸能発表会(十一月十六日)があります。

## 作品展示会

- とき 十一月三日~五日
- ところ 町民体育館
- 時間 午前九時~午後五時
- 内容 書、日本画、写真、陶器、手芸、俳句、盆栽、菊花、生花、高齢者作品、児童生



町園芸愛好会のみごとな菊 (昨年)

心のもつた見事な作品が一同に展示されます。ご家族おそろいでお出かけ下さい。

## 芸能発表会

- とき 十一月十二日(日)
- ところ 町民体育館
- 時間 午前十時~午後三時
- 内容 合唱、民謡、吟詠、日本舞謡、琴曲

町内の各文化団体が、日頃の練習の成果を披露いたします。この機会にぜひご鑑賞ください。



## 明治学級だより

### 熱心に学習

九月の明治学級は、交通安全についてのお話と指導、そして、藤田小学校の小川校長先生から「孫のしつけ方と老人の役割」という題でお話をいただきました。

久しぶりの秋晴れに、稲刈や養蚕で忙しく、出席者があやぶまれておりましたが、それでも六十名が参加、熱心に耳を傾けました。

まず初めは、桑折警察署交通安全全指導課の山田部長さんのお話です。死亡事故の原因や、正しい自転車の乗り方、歩き方を約一時間にわたって講義、交通法規は自分の命を守るもの、必ず守って下さいとお話にみなさんうなずいていました。それから質問に入り、「自転車を押して歩くときは左右どちらが正しいか」「踏切りの正しい渡り方は?」など活発な質問がありました。

続いて実際に外に出て、山田部長さんの指導で自転車と徒歩で交

差点の正しい渡り方を練習しました。

このあとは小川校長先生のお話です。先生の豊富な経験から、現代の子供の特徴と育て方、学校だけでは教育できないこと、家庭でのしつけ方の大切なことなどをお聞きました。次のことは、お話のほんの一部です。

- ・ 1つしたことで悪い奴だときめつけてはいけません。傷つけないように育てたい。
- ・ 教育とは教える育てること、育てることは父兄の方が優れている。
- ・ 今の子どもはけんかをしない、小さい大人みただ。
- ・ 子供に勤労体験の時間をもうけたい。



横断歩道は手を上げて  
わたりましょう

「よいところ、悪いところ」

- 1 よいこと、悪いことを教えてくれる
- 2 家の仕事を一生けんめいやつてくれる
- 3 先祖を大切にすること
- 4 昔話をしながら大切なことを教えてくれる

- (いやなところ)
- 1 すぐおこる
- 2 同じことを何度も言う

### (貝の話)

大学で貝の研究をしている父をもつ子供

子供が貝のことについて担任の先生に質問した。担任教師はわからないからお父さんに聞くようにと言った。父は、お前の先生は何でもわかっている偉い先生なんだが、お父さんに遠慮して見なさい。明日また先生に訪ねてみなさい。と言った。質問に答えられるように専門的な解答を先生に送り届けておいた。明日帰宅した子供は、僕の先生はやっぱ偉いんだと喜んで報告した。

自分の子供に担任教師を尊敬させるべく取り計らった父親の偉大さを見習うべきではなからうか。かわいい孫のため、父親、母親を尊敬させるべく仲だちの役こそおじいさん、おばあさんの大切な役割ではなからうか。

# みんな走ろう

## 町内一周の駅伝大会

園見町内一周駅伝競走大会が次の要項で開催されます。スポーツに親しみ、地域の親交を深めるためにも、数多くの参加をお待ちしています。

期日 十一月五日(日)

会場 町内一周 スタート 町公民館前

参加資格 午前十時三十分 園見町民であること。ただし、中学生および高校生の上部団体登録者を除く。

2 地域によるチーム編成とする。3 年齢別は次のとおり。 十五歳〜二十歳未満 二名 二十歳代 三名 三十歳代 三名 四十歳代 二名 (昭和五十二年十一月日現在)

4 選手はチームのスポーツ傷害保険に加入する。

申し込み 十月三十一日まで町公民館へ 監督会議

十一月一日(水)午後七時三十分、町公民館で行う。

### 中継所とコース



沿道の応援をお願いします。

## 夫婦なかよく

### さくらんぼ学級生 その5

さくらんぼ学級とは、公民館を中心とした若い夫婦の集まりです。



賀藤 幸一さん (二九)

ミツ子さん (二七)

徳江字神割3

長男 司くん (四) 二男 忍くん (三)

長女 恵ちゃん (二)

(家族) 夫婦 子ども三人 父と母

(結婚したのは) 昭和四十七年十二月。全面的な日本陣れの大安吉日。あぶく青年会で知り合った二人は、運命の糸をたくりよせるかのように、大恋愛の果てに(?)いつしかゴールイン。

(うちのおとちゃん) 筋骨たくましく、顔をぬきにして美男子で、頼もしいとちゃん。専業農家と自負し、毎日畑で働いています。

(うちのおかあちゃん) 大河を渡り、村内の他国に嫁いだ森山美人。今では二太郎、一姫相手に育児競争。小さいおかみさん、頼りにしてまっせ。

## あつかし俳句会

昭和五十二年九月三十日

- \* 慈恵院忌日に添えぬ曼珠沙華 奥山 甲二
- \* 高からぬ一山まろし葛の雨 斎藤黄鶴楼
- \* いさかいてもありて爽か老一人り 熊田 一陽
- \* 秋海棠一葉さして客迎ふ 野村たかし
- \* 秋の蝶だらだら坂を跳いて来る 藤田 勝衛
- \* 草の戸に吾住みなれて五十年 加藤 痴仏
- \* 庭石を楯とよりそう秋海棠 須田 泰山
- \* 名月や月より暗く燭灯し 佐久間山月
- \* 曼珠沙華伊達と相馬を結ぶ道 奥山 雨田
- \* 師の庭に思い出多き彼岸花 小野寺萬水
- \* 爽かや墓地をもちたらず供華明り 阿部しげを
- \* 秋愁の手指に重たき聖書かな 羽賀 えい
- \* 香けふる母似の人や彼岸花 角田 昭子
- \* 馬追いや静かに夫と箸を置く 熊坂 きよ
- \* 貧しさを言えば木犀匂うかな 森田 栄子

このたび、福島県農業経営者ヨーロッパ派遣研修の引率団の一員として、当町の八島富一君を始めとする県内から選ばれた二十八名の研修生とともに、フランス、オランダ、西ドイツ、スイス、東ドイツ、デンマークの六カ国を訪問してきた。

ヨーロッパの農業は変わった。E.E.C.の中で、各国とも規模拡大が進み、機械化が一層充実されてきた。

十四年前デンマークで、若い青

年が農業から町へ流出している様子を見て来た私は、このたびの訪問で、農業一見直されて、町のサラリーマンが土地を買い、農業経営

### 山崎 八島 博正



當に生きがいを見出し出しているという話を聞いて来たしこうした話ではドイツでもスイスでも聞かれた。こうした中でヨーロッパ農業は

日本農業の将来を憂嘆しているといつても過言ではないと思う。しかも私達が学ばねばならぬのは、こうした農業問題の解決を、町や

また私達は、農業の持つ共通な問題として、生産過剰、機械化による過剰投資等、ドイツでもスイスでもデンマークでも聞いてきた。がしかし、各国の農民が、自分の仕事として自信をもた、しかもプロとして、自国のみならず、ヨーロッパの国々を相手に、いや世界を相手に農業を営んでいる姿勢があった。

業経営者ヨーロッパ研修の事業は町からはこれまで三人の方が参加された。研修の成果をぜひ、今後の農業経営に反映してほしい。として活躍してほしい。また、今後とも続くであろうこの事業に、一人でも多くの若い農業経営者を送りたいと思ひ、最後に当町より参加した八島富一君も研修生のリーダーとして活躍し、事故もなく無事帰国したことをご報告して、町長さんを始め数多くの町民のご支援に感謝したい。

## 牧野純子さん(藤田小五年)が県一位

### 防犯の作文コンクール



#### 『新聞を読んだ』

このほど、県防犯協会主催で作文コンクールが実施されましたが、小学生の部で、藤田小学校五年の牧野純子さんが、見事県で一位に選ばれました。

日常の考えや疑問を卒直に書き出したもので、ただ今東北大会で審査中ですが、藤田小学校と桑折警察署のご好意により、ここに紹介することができました。

この間、新聞を見ていた父が、「小学生が強盗するなんて、考えでもなかった。おそろしいことだ」と言いました。わたしも新聞を見てみました。そこには、中学一年生と小学生が、ナイフのようなもので、人をおどし、お金をうばい取ったと書いてありました。

父が、何年も前の小学生や中学生でこんなことをする人はだれもいなかったのに、なぜ今の子供が平気でこんなことをするのかなあと心配そうな顔で言いました。

私も、なぜこんなことをするのかわからないと言いました。そこで、父は、「純子も考えてごらん」と言いましたが、ちよつと考えができませんでした。母がそばから「悪いことだと知らない子から」と言いました。

父が、何年も前の小学生や中学生でこんなことをする人はだれもいなかったのに、なぜ今の子供が平気でこんなことをするのかなあと心配そうな顔で言いました。

私は、この人たちは、テレビやマンガで悪いことをする人たちのことをカッコいいなんて考えて、まねをするのかなとも思いました。いくらまねをするにしても、よいことと悪いことの区別ができない人は人間のくずだと思えます。

近ごろは、非行少年がふえてきているという話も聞きました。父は、「いちばんいけないのは、よくばりの心が多すぎる。それからがまんなする心がなくなっているのが大きな原因だ」と言います。わたしも、そう言われてみると、何でもほしいなあと思ひます。ほしい物があつて買ってもらえないと、母にやつあたりすることがあります。そんな心が

悪いほうにむかっているのはたいへんなことです。こんな非行問題をなくすためには、やはり私たちが、そんな気持ちをおこさないようにすることだと思ひます。いくら気がむしやくしゃやくして、自分のいいなりにならなくとも、不良になることはないと思います。いくらお金がなくなつて、人の物をぬすむなんて、やつていいこととは思ひません。それに人にもめいわくがかかるし、自分の両親だってどんなに心配するかわかりません。

私は、これからはまんなすることに入力したいと思います。このような心をもつ人が持つてくれば、非行少年や少女なんていなくなり、世の中がもっと明るく住みよくなると思ひます。



10月



- 10月 神無月 (かんなづき)
- 18日・統計の日
- 23日・電信電話記念日
- 24日・霜降
- 26日・原千力の日
- 27日・読書週間始まる

- 11月 霜月 (しもつき)
- 1日・自衛隊記念日・灯台記念日・教育文化週間
- 3日・文化の日
- 8日・立冬・世界都市計画の日
- 11日・世界平和記念日

クツの手入れ 足元を見られる、おしやれば足元からなどと古くからいわれていますが、現代でもこの風潮に変わりはないようです。昔みたいに下駄や草履をはく機会は少なくなっています。生活の形態が変わってきたからでしようが、相当なお年寄りでも靴万能の時代になったようです。カラッとしたい日を選んでクツを念入りに手入れしておきましよう。ほこり落としやつや出しなど日常の手入れのほかに、2-3カ月に一度くらいは念入り手入れすることが、靴の長持ちの秘けつです。

昨夜ヤクルトが初優勝し、多分の広報がでる頃にはB・S・シリウスが始まっている頃である。野球が終るとラグビー、そしてウインタースポーツと一見日本のスポーツは花盛りのように見える。しかし、これはあくまで見るスポーツ、娯楽のスポーツであって真に皆が参加できるスポーツが隆

フットボール、野球、バレーボール、一部の人達のゴルフなど次第にスポーツが見近くなってきた感じは確かである。が、まだまだ町民全体があらゆる年齢層にわたってスポーツを楽しむ域にはほど遠い感じがある。

最近の生活形態、労働条件等社会生活の変化がますます運動不足を招いている。身体を動かす、自分の思うところに行けるということが人間にとって一番大切なことであり、足のおとろえを防ぐにはスポーツがもっと意義は大きい。

文明病と言われる糖尿病も過食と運動不足によると言われている。すことに関しては未だしの感がある。身体を動かす、自分の思うところに行けるということが人間にとって一番大切なことであり、足のおとろえを防ぐにはスポーツがもっと意義は大きい。



公立藤田総合病院院長 本宿 尚

健康とスポーツ

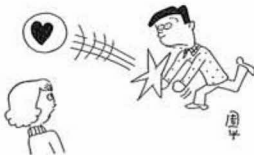
スポーツ



盛かと言えは多少の疑問が残る。今までの日本のスポーツは概して若者のものであり生涯を通してのスポーツはごく限られた者にしか参加の機会がなかった。私が国にお世話になって十年になるが、当初見られなかった早朝のランニングに最近よくぶつかるし、ソ

に拍車をかけ、ほとんど身体を使わなくなってきた。現在、運動不足を補うことは、現代における健康管理に最も重要なことである。疾病に対する健康管理は長足の進歩をとげたが、その前段階である健康の増進と老化速度を遅ら

軽い糖尿病ならばスポーツによって良いコントロールを得ることが出来る。恐らく次第に増えてくるはずの心臓病も適度の運動により心臓を刺激しておけば確かに予防効果があるように思われる。その他スポーツによって全身の血液の循環をよくすること。肺活量を増やすこと等々、スポーツは健康増進にとってはかり知れないものがある。汗をかいた後の心地良さを今一度思い出して見る必要があるのではなからうか。



心配ごと相談日

場所：役場宿直室

時間：9時～12時

こまったことや心配ごとがあり  
ましたらお気軽にご相談下さい。  
秘密は絶対を守ります。

(相談員)

- 10月25日(水) 菊地 正 治
- 阿部 キ ク
- 11月4日(土) 宇佐美 兵 蔵
- 佐藤 ハルヨ
- 11月15日(水) 曳地 善 作
- 佐藤 子 カ
- 11月25日(土) 佐久間 岩 吉
- 安藤 玉 井

# 小鳥とけもの楽園

## あつかし山を鳥獣保護区に

キジを放す  
田口さんと  
佐久間さん



小鳥やけものたちを守るための「鳥獣保護区」が、わが町にもまもなく設けられますが、それに先がけて、九月十六日、あつかし山にキジの幼鳥が放されました。この日放されたキジは雌雄三十五羽、あいくの雨模様でしたが、県から委託された地元猟友会の佐久間友吉さんと田口定爾さんの手によって放され、元気いっぱいに近いの林に飛んで行きました。最近、カモシカやコガラなどが違法に捕獲されたり、開発や汚染で住むところを追われた話が報道

されています。わが町の山林でも以前は数多く見られましたが、最近はかな減ってきているということ。こんな小鳥やけものたちを守るには、これらの生活が人間に拘束されることなく、自由に自然の中で生きて行けるような環境づくりが必要。また、それに伴い、野鳥の森の造成が予定されています。この辺は野鳥の繁殖地であり、キジをはじめ、ヤマドリ、カッコウ、ホトトギス、ウグイス、コガラ、ホオジロ、ツグミ……など、たくさん的小鳥が棲息しており、これを保護しながら繁殖していくというものです。野鳥の森には車箱や案内板、給水施設、さらに、車庫や採鳥路の整備も計画されており、小鳥たちのすばらしい楽園であるとともに、あつかし山のまた一つの魅力になることでしょう。

○小鳥やけものを捕まえることを禁止している場所  
鳥獣保護区、休猟区、道路、公園、神社、お寺の境内など  
○鉄砲で狩猟を禁止されている場所

禁止区域、市街地、人家が多くあるところ、人が集まる場所  
○鉄砲で狩猟を禁止されている時間帯  
日没後から日の出前まで  
○狩猟で危険を防止するため禁止されているもの  
爆発物、劇薬、毒薬、危険なわな、危険なおとし穴

### 統計功労者として 鴨田さんに総理大臣賞



このほど、内谷西三・鴨田清作さんが、統計功労者として内閣総理大臣賞を受賞されました。鴨田さんは昭和二十八年から統計調査員として活躍、最近では昨年の就業構造基本調査を担当しました。

いうまでもなく統計調査は、地

### 防衛大学学生の募集

区分	受付	試験	合格発表
防衛大学校 学 生	10月2日   10月21日	1次： 11月3日～4日 2次： 12月6日～8日	54年  2月14日
	10月2日   10月21日	1次： 11月18日～19日 2次： 54年1月6日～8日	54年  3月10日

### 電気料金を割引

#### いたします

(昭和53年10月分から)  
昭和54年3月分まで

◎ 東北電力

※標準家庭の割引額は  
月188円になります。

味で目立たず、しかも労力のある仕事ですが、なくてはならない大切なものです。今後ともよろしくお願いいたします。

# 悲しみを繰り返すな

## 交通安全町民大会

交通事故ゼロへの願いをこめて桑折町・国見町交通安全町民大会が、九月九日桑折町醸芳小体育館で行われました。

これは、両町、桑折警察署、交通安全母の会などが主催して悲しい事故を少しでも減らすように、協力して運動を展開して、いこうというもので、今年で二回目を迎えました。

大会は、両町から七百人の町民が参加、まず、大会会長である菊田桑折町長があいさつ、続いて副会長の佐藤国見町長、宇佐美桑折

署長があいさつに立ちました。

その次に表彰式に移り、わが町からは交通安全協会部会長の渡辺富男さん、交通安全優良校の森江野小学校、小坂スポーツ振興会、国見小型運送株式会社が交通安全の協力者として表彰されました。さらに交通事故で父親を亡くした大谷美恵子さん（醸芳中三年）が交通違反の立場から「みんなが原点に帰って事故ゼロを考えると、きではないでしょうか。悲惨な事故をなくしてほしい」と訴え、参加した人々の心をうらましました。



表彰を受ける森江野小学校

## 『車は何台走る？』

「毎日毎日車ばかり多いが、いったいどのくらい通るのかと思つて参考までに——。」と調べた方がいます。

塚野目の野田善美さん（81）は午前6時から午後6時まで、県道国道、高速道路をそれぞれ1日ずつ調査したそうです。それによると、高速道路は12時間で約8,500台、そんなに通るのかとびっくりしてしまいます。

調査月日	道路場所	自動車		バイク		自転車		歩行者		合計				
		上り	下り	上り	下り	計	上り	下り	計					
7月10日	県道 塚野目	685	687	1,372	57	73	130	119	114	233	42	51	93	1,828
8月26日	国道4号 塚野目	3,603	3,412	7,015	145	120	265	57	35	92	19	10	29	7,401
8月30日	国道4号 塚野目	4,559	3,918	8,477	21	19	40							8,517

調和のとれた国土利用のために一定面積以上の土地の取引きをするときには、県知事に届出なければなりません。

これは、昭和四十九年施行された「国土利用計画法」により、国土を総合的に

しかも計画的に利用するためのものです。届出が必要な土地

・市街化区域が二〇〇〇平方以上

## 土地の売買は届出を

上（二反歩）  
市街化調整区域が五〇〇〇平方以上（五反歩）  
都市計画区域以外は一〇、〇〇〇平方以上（一町歩）です。これ以上の土地の売買しようとする際は、その土地の所在地や利用目的、取引の予定対価の額などを記載した届出書を町長を経

て知事に届けなければならず、届出をした日から六週間以内は契約を締結してはならないとされています。

さらに、利用目的がその地域の土地利用計画

に添わないとか、予定対価の額が地域の水準よりも高いと、知事は、取引の中止や対価の変更について必要な措置をとることとされています。

## 善意の窓

○斎藤光吉さん

（徳江字館ヶ崎一七）

森江野小へ施設の一部として

三万円

## カッパル誕生

氏名 部落（前住所）

- 菊地 徳雄 石母田西
- 渡辺アサ子 泉田中
- 秦 経夫 大町北
- 古川 陽子 大町北
- 吉田 和博 第四
- 山田 順子 保原町
- 加藤 年男 福島市
- 菊地恵美子 大町南
- 佐藤 啓一 高城
- 渡辺千鶴子 福島市

## 標識週間

10月16日～21日

道路の案内標識は、どれも「予告」「案内」「確認」という。三点セットになっていて、至れり尽くせりの情報を伝えてくれます。

# お知らせ



## 移動採血車「いづみ号」が やってきます

きたる十一月十四日、わが町に移動採血車「いづみ号」がやってきます。

献血は、いうまでもなく健康な人が、病气やけがの人たちを助ける「お互い助け合い」の精神で成り立っています。

みなさんのご協力をお願いいたします。

### 献血場所

国見農協前

九時三〇分～十時

国見役場前

午前十時～正午

国見電子前

午後一時～三時

献血のできる人

献血したいが、という人でも献血できない人がおります。できる

人は、年齢が満十六歳以上六十四歳以下。体重は男性が四十五キログラム女性は四十キログラムを超える方で、前回の献血から一カ月以上たっていることが必要です。女性の場合、妊娠中とか産後六カ月以内の方は献血できません。

献血にあたっては医師が問診、視診、血圧測定、血液比重の検査、血液型の事前検査などの健康診断を行います。その結果、不適當と診断されれば献血できないことがあることをご承知下さい。言いかえれば、献血することによって自分の健康状態がわかるわけです。

## 狂犬病予防注射

(サービス)

第二回狂犬病予防注射が十月十七日、十八日に行われますが、都合が悪く受けられない方のため、次の日程で再度実施いたします。必ず受けるようにしてください。

### ◎期日

十月二十九日(日)

### ◎時間

午前九時半～十二時半

### ◎場所

国見町役場前

### ◎料金

九五〇円(春に登録を受けない犬は二千円加算と印鑑を持参し

てくだされい) ◎持参するもの 通知書

## 災害が起こったときの

### 住民援護サービス

#### ◎災害救助法による救助

小さな災害には地域社会だけで対応できませんが、災害が大きくなると、市町村だけで救助にあたることは困難になります。

そこで、一定の基準をこえる災害が起こったときは災害救助法が適用されます。災害救助法が適用になると県の責任で救助サービスが実施され、その費用に国庫負担が行われます。

◎災害援護資金の貸付け

災害を受けた世帯が生活立直しのための資金を必要とするときは、災害援護資金の貸付けを利用することができます。

◎災害弔慰金 (一部免除)

自然災害によって亡くなった方に対する災害弔慰金制度が、前記災害援護資金の貸付制度とあわせ昭和四十八年に制定されました。生計維持者が亡くなった場合二百万円、その他の世帯員が亡くなった場合は百万円支給されます。

## おめでとございます

九月中に届けられた方(敬称略)

- |       |     |     |
|-------|-----|-----|
| 小林 喜博 | 絵美子 | 宮前  |
| 鈴木 茂  | 祥子  | 川内  |
| 六戸伊勢雄 | 智美  | 町東  |
| 佐藤 吉茂 | 祥子  | 第七  |
| 野村 直人 | 恵理子 | 板橋  |
| 長谷川宗夫 | 貴士  | 高城  |
| 井砂 由男 | 剛   | 北部  |
| 阿部 洋一 | 俊和  | 大木戸 |
| 松田 征雄 | 美智子 | 貝田  |
| 佐藤 隆夫 | 路子  | 小坂  |
| 佐藤 代八 | 代至  | 泉田中 |
| 佐藤 春男 | 智美  | 第二  |
| 安藤 正晴 | 航   | 前田  |

## おくやみ申しあげます

九月中に届けられた方(敬称略)

- |        |    |      |
|--------|----|------|
| 齋藤今朝治  | 85 | 貝田   |
| 齋藤 シナ  | 84 | 山根   |
| 齋藤 マツヘ | 84 | 山根   |
| 菊地 ハルエ | 65 | 石母田原 |



## 編集日記

○秋も日一日と深まり、もみじ前線は北から南へ、山からふもとへと下降中。あちらこちらで、いも煮会やジンギスカン。何といても食欲の秋—食べることは一番楽しい。そしてもう一つ左党にあっては「酒は静かに飲むべかりなり」。赤ら酒はほんが待っている。○夕暮れが早くほんが待っている。かくなってきた。その分夜が長く長くなったわけだが(あたり前)さて、秋の夜長を有意義に過ごすとう考えた。こんどこそじっくり名作を読もう。いやいやペーパーペンでも聞こうか。と、ここまではいいのだが、いつの間にマンガ本に代わり、テレビにゴロ寝……ああ、これではいつまでたっても進歩するはずがない。

## 今月の納税

### 町県民税 第三期 国保税